

「農」の最前線をお届けする、農業人のための広報紙

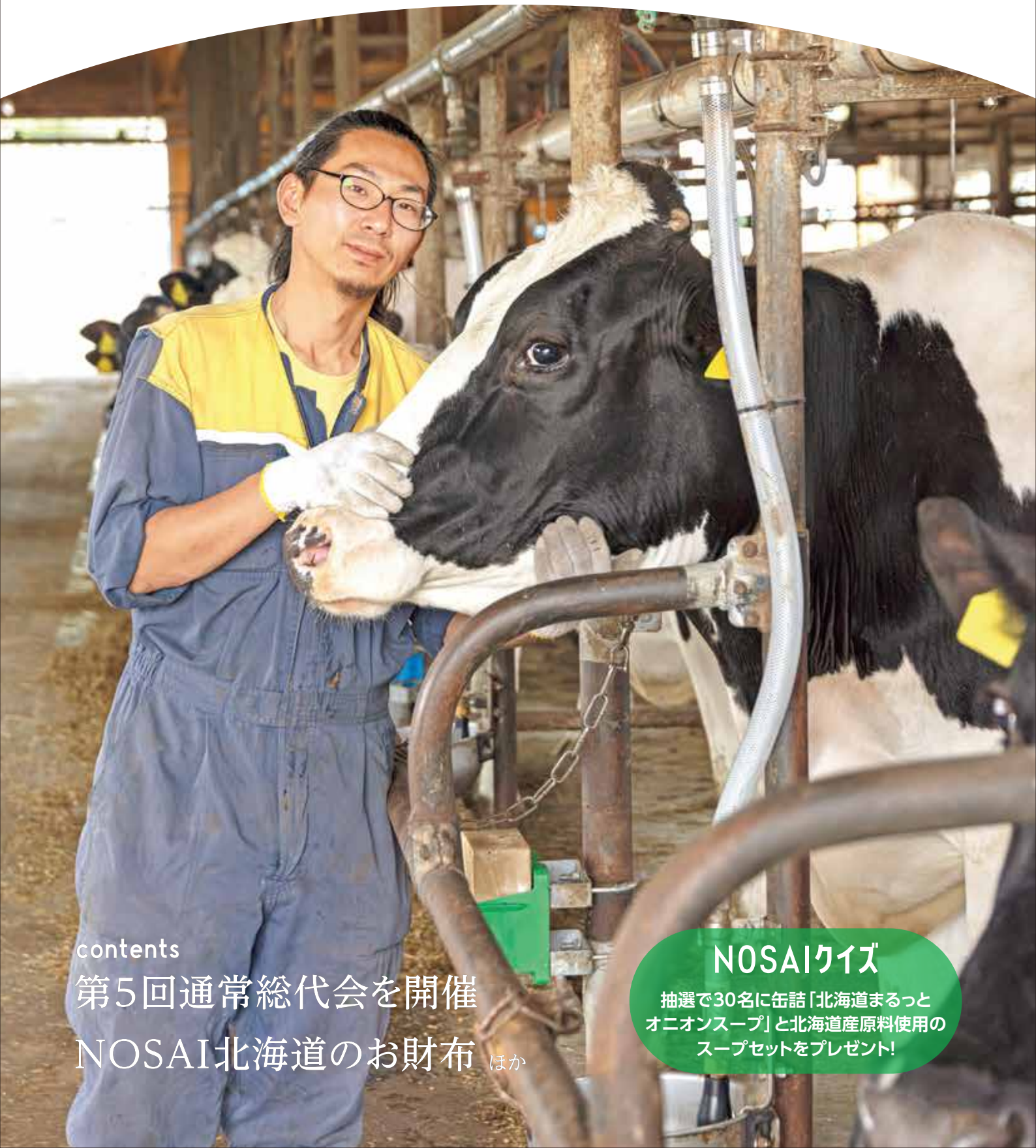
安心のネットワーク
NOSAI北海道

NOSAI

ほっかいどう



2026. **7**
Vol. 25



contents

第5回通常総代会を開催

NOSAI北海道のお財布 ほか

NOSAIクイズ

抽選で30名に缶詰「北海道まるっと
オニオンスープ」と北海道産原料使用の
スープセットをプレゼント!

北海道農業共済組合 第5回通常総代会開催



令和8年6月5日、札幌市の共済ホールで第5回通常総代会を開催し、総代206人のうち197人(うち書面議決92人)が出席しました。

議長に釧路市の菅原善伯総代が選任され、審議のもと8議案について原案どおり可決・承認されました。

持続可能な農業を支える組織基盤の さらなる強化へ

組合長理事 伊藤 榮一

国が示す事業規模点数において国内最大の農業共済組合として発足してから、早くも4年が経過いたしました。これもひとえに、総代の皆さまおよび組合員の皆さまの多大なるご理解とご協力の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

さて、令和7年度の農業を取り巻く情勢に目を向けますと、資材価格の高止まりや人手不足といった課題に加え、気候変動の影響が一層顕在化しております。気候変動につきましては、昨日の総代研修集会においては、NOSAI協会高橋会長からもご指

摘があったとおりであり、近年は高温や集中豪雨など極端な気象が頻発し、農作物の品質および収量の両面において影響が及ぶことが強く懸念されております。

こうした中、昨年度は気象災害の影響により、麦共済において約48億円の共済金をお支払いするなど極めて甚大な被害が発生したほか、ばれいしょ、たまねぎ、てん菜など主要作物においても共済金の支払いが増大しました。さらに、家畜共済では評価基準額の上昇などにより支払総額が増加し、収入保険においても保険金の支払

いおよびつなぎ融資の貸付けが拡大するなど、制度機能が強く発揮されました。このように各制度において、不測の事態に備えるセーフティーネットとしての役割を十分に果たした年であったと受け止めております。

NOSAI北海道といたしましては、今後も制度の普及・定着に努めるとともに、迅速かつ的確な共済金の支払いと情報提供の充実を通じて、組合員の皆さまの経営安定に資する取り組みを着実に進めてまいります。あわせて、診療体制の充実や業務の効率化、諸経費の見直しを着実に進めることで、中長期的な視点に立った安定的な経営基盤の強化に取り組んでまいります。

引き続き、皆さまの持続可能な農業の実現に向け、努力してまいりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。



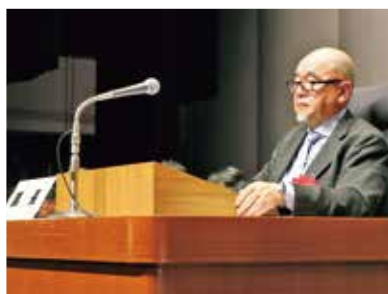
いとうえいち
開会の挨拶を述べる伊藤 榮一組合長



かのうたかゆき
来賓 加納 孝之北海道副知事



たかはしひろし
来賓 高橋 博NOSAI協会会長



すがわらよし
議長を務めた菅原 善伯総代



ほし としお
閉会宣言をする星 敏夫副組合長

質疑応答・ご意見（要約）

Q 管理会計システムを導入したその成果や問題点、また、改善がどのように進んでいるのか。

みなみ西部センターの状況を教えてください。

A 管理会計の導入により、各診療所の収支状況の把握が進み、みなみ西部センターでは黒字化には至っていないものの、赤字幅が大幅に縮小するなど、一定の改善成果が見られました。これにより、収支の実態を具体的に把握できる体制が整いつつあります。

現在は、他地域の獣医師による応援体制を実施していますが、応援に行った職員からは所属する診療所と比べて移動距離が長いという課題も報告されています。今後は、こうした状況を踏まえ、地域の実情に応じた運営体制のあり方を検討するとともに、管理会計の適切かつ効果的な運用方法の確立が重要な課題であると認識しています。

認識しています。



Q NOSAI部長の役割・機能について、その実態を確認したい。

A NOSAI部長は、NOSAIとのパイプ役としての基礎業務に加え、加入申込書の配布・回収や内容確認など事業系業務も担っており、その作業量に応じて報酬に差を設けています。ただし、この報酬制度は令和9年度から廃止する方向で検討を進めており、NOSAI部長会議などで説明を行っています。今後

は実績に応じ、評価員と同様に出勤日数に応じた日当方式への見直しを予定しています。

人材確保と働き方改善、そして農家と職員の協力関係のあり方について貴重なご意見をいただきました。

地域全体で人材の減少が進む中、

農家や職員、獣医師を含めた多様な人材をいかに大切にしていくかが重要であると考えます。特に、若手職員や女性獣医師など意欲ある人材が安心して働き続けられる環境づくりが求められていると感じます。

また、これまでの良い慣行を大切にしつつも、長時間労働などの課題については見直しと改善が必要であり、今後の取り組みに期待したいと思います。あわせて、利用する農家側においても時代に応じた意識の変化が求められており、職員と農家が互いに理解し合い、支え合う関係づくりが重要であると考えます。

今後は、現場の声を広く共有し、意見交換の機会を充実させるとともに、その内容を運営に反映していくことを期待します。

提出議案

議案第1号

令和7年度業務報告書の承認について

●業務報告書は組合ホームページに掲載しています

議案第2号

令和8年度事業計画の設定について

●事業計画は組合ホームページに掲載しています

議案第3号

令和8年度事務費賦課額及び徴収方法について

議案第4号

役員、顧問、NOSAI部長の報酬について

議案第5号

借入金の最高限度額等について

議案第6号

損害評価会委員の補充選任について

議案第7号

事業規程の一部変更について

議案第8号

実施体制の改善（中長期）計画の改定について



NOSAI北海道のお財布

NOSAI北海道では、組合員の皆さまが納めた掛金や賦課金がどのように使われているのかをお伝えするため、決算や予算の内容を組合ホームページで公表しています。このページでは、合併から4年目である令和7年度の決算や令和8年度の予算概要をご紹介します。

わかりやすく
解説します！



令和7年度 決算の状況

組合は、農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設および任意共済(以上を総称して事業勘定)、業務勘定、家畜診療所勘定の計8つの勘定(お財布)でお金を管理しています。

事業勘定の概要

家畜、畑作物および園芸施設共済の事業で剰余金が発生しました。当期剰余金は、大規模災害に備えた共済金の支払財源として積み立てます。令和7年の道内では高温が続き、とりわけ麦や畑作物に被害が発生しました。農作物共済のうち麦については年度内に支払いを完了していますが、畑作物共済では令和8年度に共済金を清算する作物が多く、令和7年度末は仮払いの状態で決算を行っています(令和7年度仮払金:41億1,455万円)。

業務勘定の概要

業務勘定は、多額の補助金を財源としていることから、収支差額を生じさせないことを会計の原則としています。このため、剰余金や不足金は発生しませんが、令和7年度における剰余金に相当する繰延残金は2,402万円となっています。収入については、事務費賦課金の徴収方法を改定したことなどにより約2億円減少していますが、国事務費補助金および収入保険受託収入で1億7,000万円増加したほか、金利上昇に伴う受取利息が1億8,000万円増加したことにより、賦課金の減少分を補っています。

家畜診療所勘定の概要

前年に引き続き生乳生産抑制は解除されていますが、飼料価格の高騰を背景に、高価な配合飼料から良質な粗飼料への切り替えが進み、疾病は減少・軽症化する傾向にあります。病傷事故件数は前年比98.2%と減少しましたが、適切な診療の実施に努めた結果、診療収入は前年より8,980万円増加しました。

また、人件費や維持費などの支出は増加したものの、医療品消費費の抑制により、収支は1億4,425万円の剰余となりました。

事業勘定

事業勘定は、納めていただいた掛金やお支払いした共済金を事業ごとに6つの勘定(お財布)で管理しています。

各事業の剰余金は、共済金の支払いや損害防止事業などの財源として積み立てます。

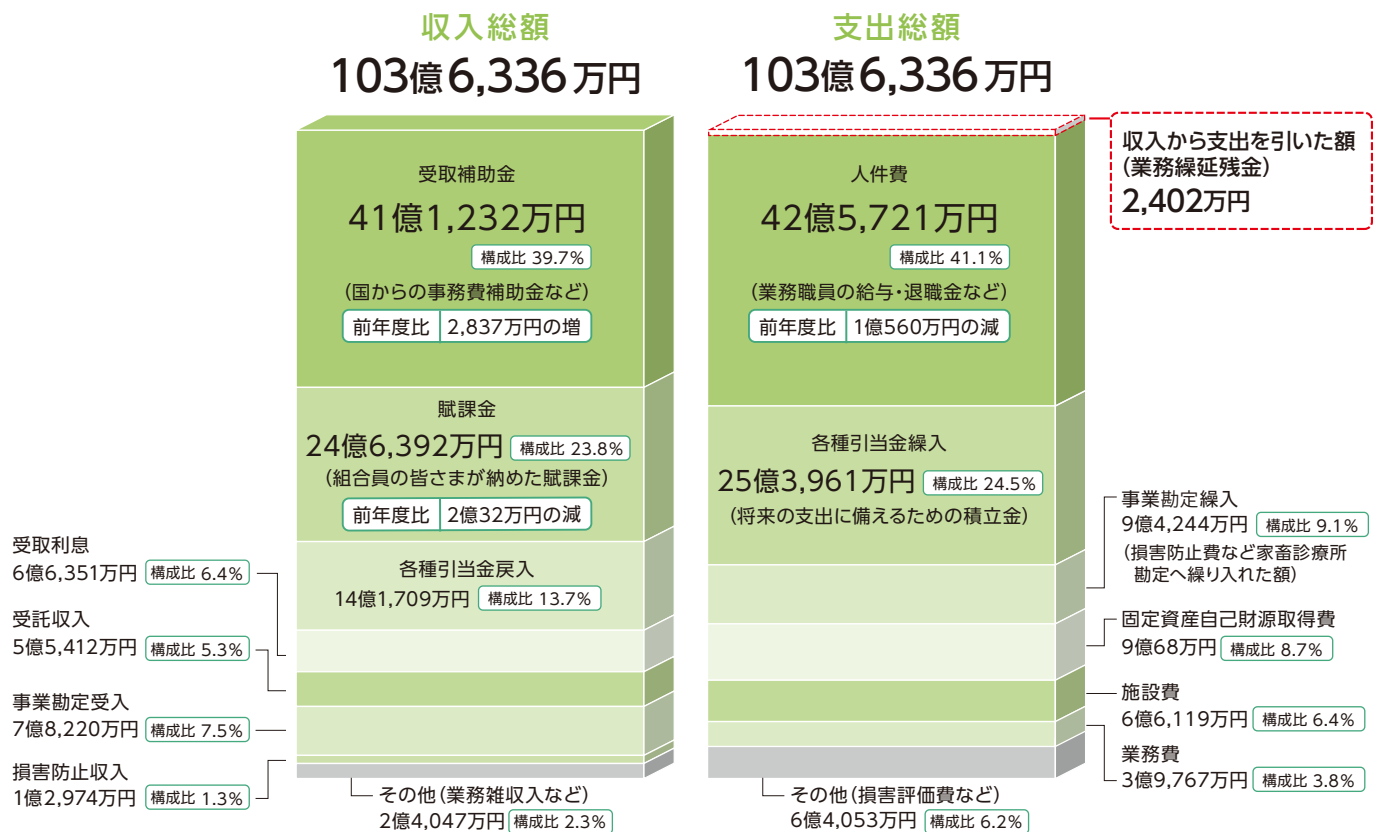
勘定科目	事業収益	事業費用	差し引き(剰余金)
農作物共済勘定	67億2,191万円	67億2,415万円	▲224万円
家畜共済勘定	288億1,741万円	267億9,884万円	20億1,858万円
果樹共済勘定	706万円	706万円	0円
畑作物共済勘定	72億2,291万円	62億8,406万円	9億3,885万円
園芸施設共済勘定	5億8,103万円	4億38万円	1億8,065万円
任意共済勘定	63万円	63万円	0円

掛金や交付金などを事業収益とし、共済金や保険料などを費用として支出しています。



業務勘定

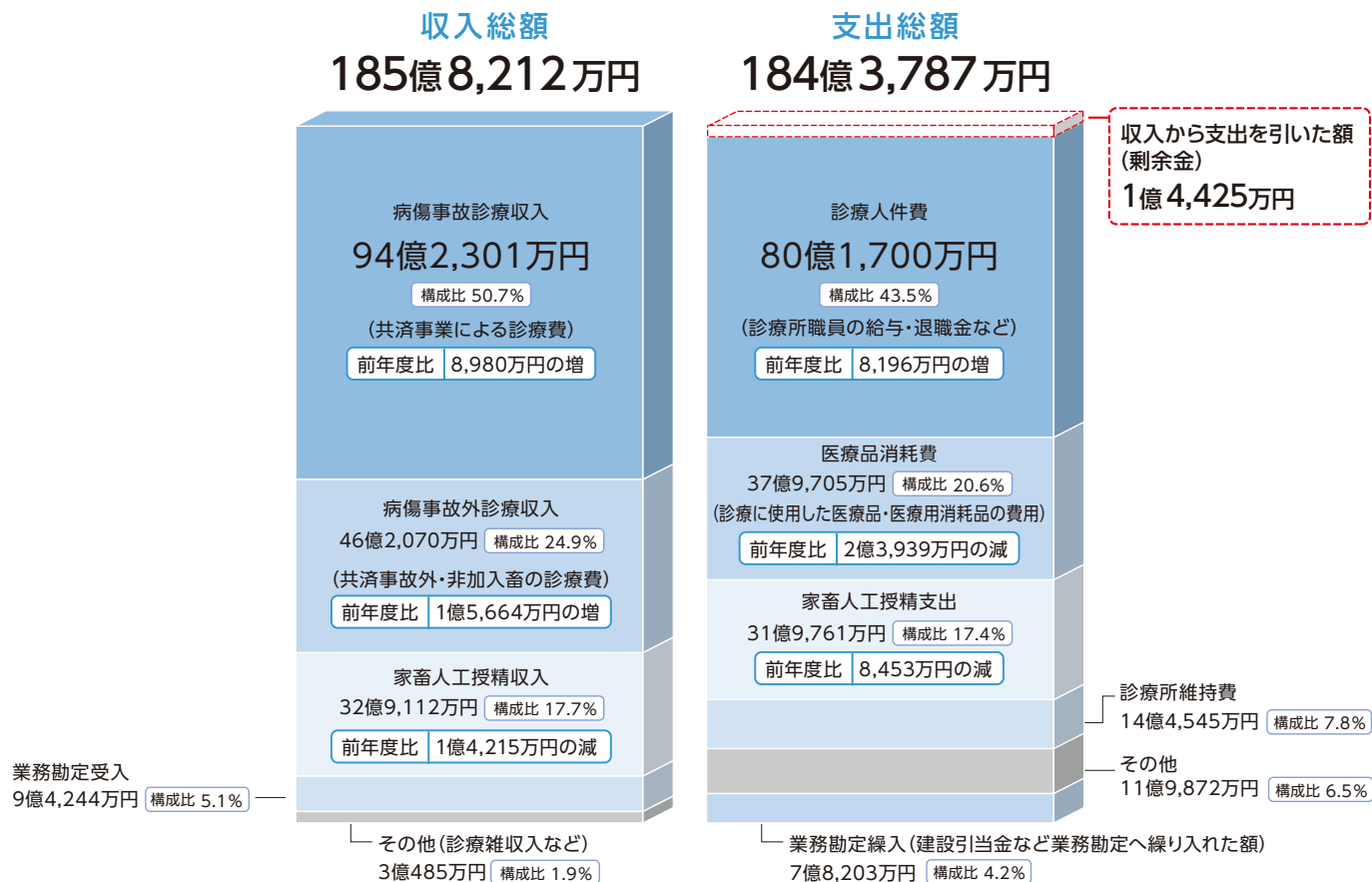
農業共済事業の業務執行に要する経費に関する勘定で、国事務費補助金や皆さまから納めていただいた事務費賦課金などを収入源に、職員の人件費や事務費または施設費などを管理する勘定(お財布)です。



※総額は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

家畜診療所勘定

家畜診療所の運営状況(損益)を明確にする勘定(お財布)です。診療や人工授精を行った収入を財源に獣医師や人工授精師の人件費、家畜診療所の維持費を賄っています。



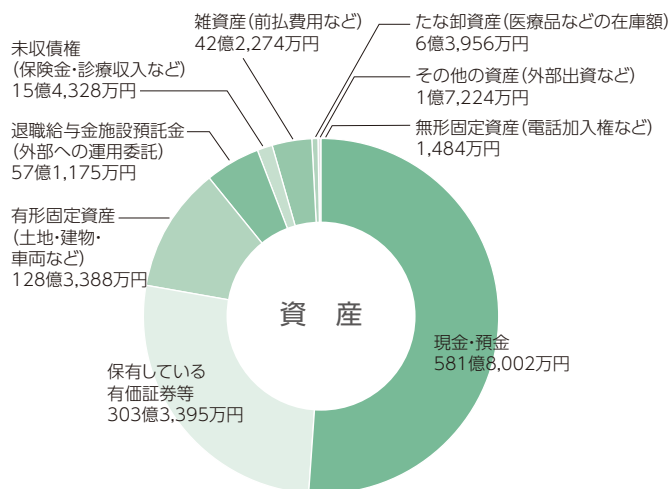
※総額は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

令和7年度 保有資産の状況

令和7年度末の組合が保有している資産と負債および純財産をご紹介します。

資産の内容

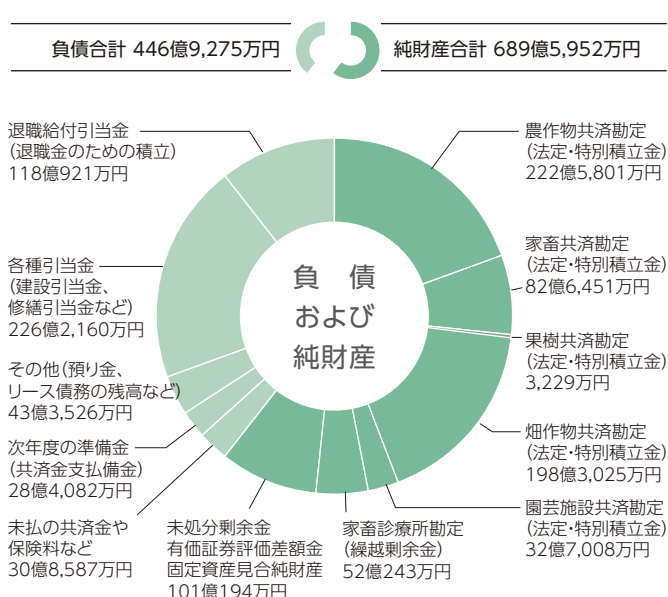
総額 1,136億5,227万円



※総額は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

負債・純財産の内容

総額 1,136億5,227万円

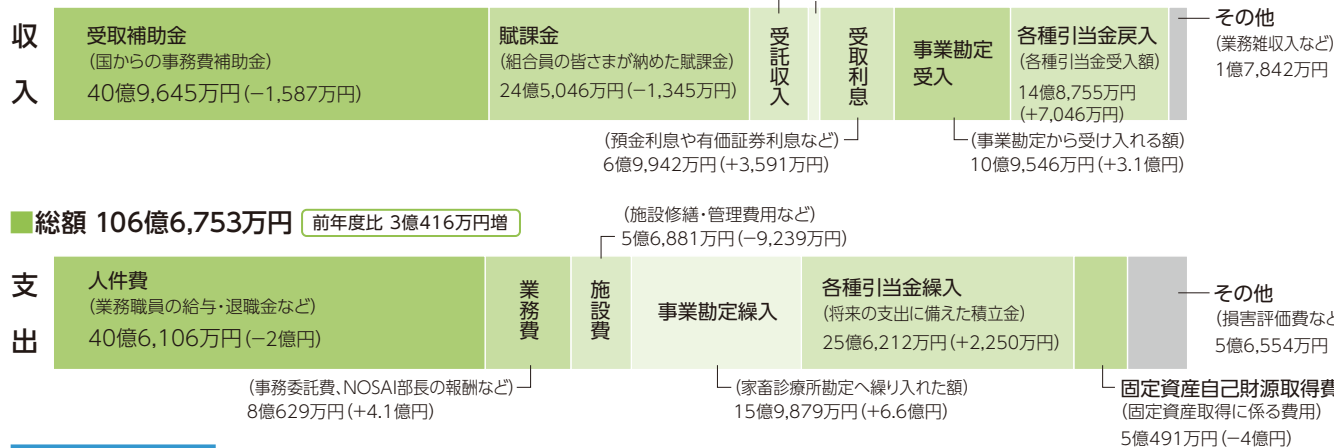


令和8年度 収支予算

令和8年度の業務勘定、家畜診療所勘定それぞれの収支予算をご紹介します。

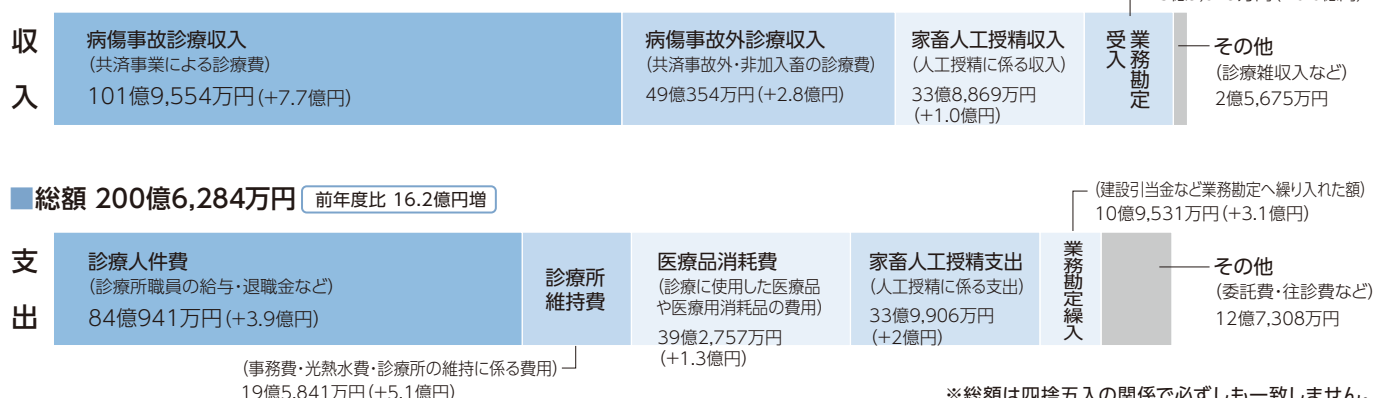
業務勘定

総額 106億6,753万円 前年度比 3億416万円増



診療所勘定

総額 203億4,331万円 前年度比 17.6億円増



※総額は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

■科目の説明

業務勘定

収入

受取補助金：国からの事務費補助金など
賦課金：組合員の皆さまが納めた事務費賦課金
受取利息：預金利息や有価証券などの利息
受託収入：収入保険に係るNOSAI全国連から受ける収入など
損害防止収入：損害防止事業に要した実費収入
事業勘定受入：各事業勘定から業務勘定へ受け入れた額
各種引当金戻入：建設引当金、修繕引当金、更新引当金などを戻入れた額

支出

人件費：役員報酬、業務職員の給与・退職金などの費用
業務費：会議費、事務委託費、NOSAI部長の報酬などの費用
施設費：固定資産の維持費、光熱費等の費用
事業勘定繰入：損害防止費など家畜診療所勘定へ繰り入れた額
各種引当金繰入：退職給付引当金、建設引当金など将来の支出に備えるために積立てた額
固定資産自己財源取得費：固定資産取得に係る費用

家畜診療所勘定

収入

病傷事故診療収入：共済事業による診療費
病傷事故外診療収入：共済事故外、非加入畜の診療費
家畜人工授精収入：家畜人工授精事業に係る収入
業務勘定受入：診療所職員が行った業務に関する人件費相当分を業務勘定から受け入れた額

支出

診療人件費：診療所職員の給与・退職金など
医療品消耗費：診療に使用した医療品・医療用消耗品の費用
家畜人工授精支出：家畜人工授精事業に係る支出
診療所維持費：診療所の事務費、光熱水費、その他診療所の維持に係る費用
業務勘定繰入：建設引当金など業務勘定へ繰り入れた額

令和7年度 事業実績 令和7年度の北海道における引受・被害の状況をご紹介します。

■農業共済制度の引受状況 ▶総共済金額(補償額) 7,881億8,191万円 ▶支払共済金の総額 324億2,303万円

共済事業	引受戸数(戸)	引受数	共済金額(千円)	農家負担掛金(千円)	被害戸数(戸)	支払共済金(千円)
農作物共済(7年産)	10,862	149,397ha	125,555,775	1,944,466	4,509	5,038,568
農作物共済(6年産)					204	122,529
家畜共済	27,806	2,789,607頭	448,356,267	12,838,134	—	23,520,121
果樹共済	29	44ha	168,502	1,121	18	5,956
畑作物共済(7年産)	8,197	149,959ha	139,604,592	2,480,549	2,518	2,038,783
畑作物共済(6年産)					1,979	1,530,867
園芸施設共済(7年度)	11,446	83,797棟	74,268,769	223,211	606	163,503
園芸施設共済(6年度)					276	2,701
保管中農産物補償共済	40	228口	228,000	634	0	0
合計	—	—	788,181,905	17,488,115	—	32,423,028

※総額は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

■収入保険制度の加入状況と被害状況

	加入経営体(戸)	基準収入金額(千円)	保険金・特約補填金		つなぎ融資による貸付	
			経営体数(戸)	支払額(千円)	経営体数(戸)	融資額(千円)
収入保険	6,590	245,931,959	616	2,398,331	207	1,220,570

令和8年度 事業計画

■農業共済制度 ▶総共済金額(補償額) 7,634億424万円

共済事業	引受数	共済金額(千円)	前年比
農作物共済	146,155ha	125,448,974	99.9%
家畜共済	2,728,513頭	484,308,401	108.0%
果樹共済	45ha	194,263	115.3%
畑作物共済	147,715ha	137,455,274	98.5%
園芸施設共済	84,774棟	75,773,032	102.0%
保管中農産物補償共済	217口	217,000	95.2%
合計	—	823,396,944	104.5%

※総額は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

■収入保険制度

	加入目標(戸)
収入保険	6,600

Topics

- ①令和9年3月に総代選挙があります。
- ②役員定数の見直しを検討します。
- ③家畜共済診療点数が改定されました。
- ④家畜高度研修センター(新ひだか町)の増築及び鹿追家畜診療所の改築に着手します。
- ⑤みなみ西部センターを八雲町から北斗市へ移転しました。
道央空知センターの4拠点
を再編し、道央空知セン
ターと空知北部支所の2拠
点体制とすることで、効率
的な運用を図ってま
いります。



園芸施設共済からのお知らせ

令和7年度 支払共済金

令和7年度の被害は998棟、支払共済金は1億6350万円となりました。令和6年度と比較すると棟数で554棟増、支払共済金は4493万円増となりました。

被害内容は4月から5月にかけて低気圧の通過に伴う強風により被害



令和7年11月の低気圧通過に伴う強風による風害

が発生したほか、9月の低気圧通過に伴う強風と大雨による被害、11月にはオホーツク地方を中心に強風による被害、12月も同地方を中心に大雪の被害が発生しました。令和8年1月から2月にかけても各地で大雪による被害が発生しました。



令和7年12月の低気圧通過に伴う降雪による雪害

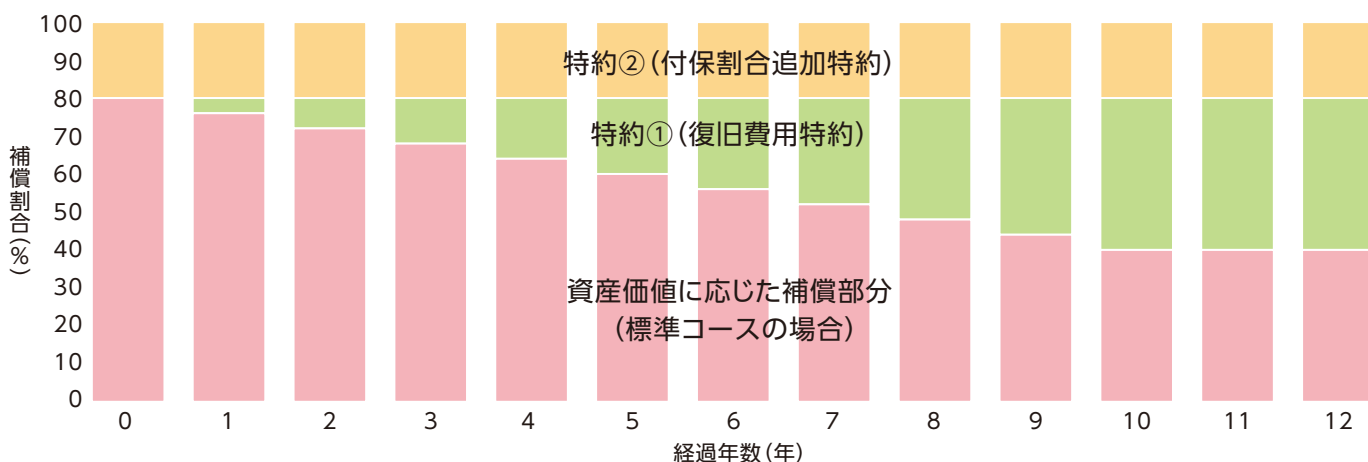
激甚化する自然災害、「もしも」への備えは万全でしょうか？

園芸施設共済には補償額の上乗せ特約があります。

図のとおり標準コースでの加入では、補償額は年々低くなり、本体のパイプハウスはパイプの経過年数が10年経過すると新築ハウスの半分の補償となります。特約①復旧費用特約はパイプの復旧後にかかった費用を領収書等により確認し、経年により減少した補償額（図の緑の部分）を上限に追加支払するものです。特約②付保割合追加特約は新築時の資産価値の最大2割を補償します。（図の黄色の部分）

現在加入している補償の見直しについては、ニーズに合わせた柔軟な選択肢をご提案いたします。まずは、最寄りのNOSAーまでお気軽にご相談ください。

●経過年数ごとの補償割合イメージ



『入ってよかった!』の声を届け

収入保険

加入者の声



令和4年
2月加入
(加入5年目)

有限会社 賀集農産
代表取締役

かしゅう たつ や
賀集 達矢さん(40)

経営内容

水稻・小麦・大豆 約34畝

Q 加入のきっかけは?

以前は水稻共済に加入していたのですが、作付けの大半を占めている水稻は、飲食店やふるさと納税の返礼品であつたり、キャンプ向け自社ブランド「野営米」のネット販売や個人販売を主体にしているので、損害評価書類の作成が大変でした。

そのことをNOSAー職員に相談したところ、青色申告決算書のみで保険金請求ができる収入保険の方が合っていると判断し、令和4年から加入しています。

Q 加入してみてもいいですか?

加入した年に米の価格が下がってしまい、保険金の対象になりました。水稻共済と違い、収入保険では価格低下も対象になるので、とても助かりました。

保険を使わず営農できるのが一番ですが、収入保険にはいざという時に農家の味方になってくれる保険であってほしいですね。例えば、価格の極端な上昇があつた場合に直近の実績に近い補償になるようにしてもらえれば、より魅力的な保険になると思います。

Q 今後の目標は?

資材費や労働力を軽減するために水稻の栽培方法を工夫しています。令和8年には冬季限定で「賀集燐製野営米」を新発売しました。

今は新たな作物を増やすことを考えてはいないのですが、将来的には栽培経験のある花きもいかなと思っています。

労働力に応じて作付品目や経営方針を柔軟に変えていこうとすると心配事も多いですが、収入保険に加入していると安心感があっていいですね。



「もしも」に
そなえる、
あなたへの
エール。
収入保険

保険期間中に起きた病気や
ケガによる収入減少は、
収入保険で補償されます

自然災害や市場価格の低下、取引

先の倒産など、農業者の経営努力では避けられない収入減少を補償する収入保険は、保険期間中に起きた病気やケガによる収入減少も補償対象となります。畑作物共済や農作物共済は自然災害による収量減少を補償する制度であるため、たとえ病気やケガが原因で収入が減少しても補償にはなりません。収入保険なら、予想外の事故でケガを負い営農が思うようにできなくなってしまうとしても、補償を受けられる可能性がありま

す。自然災害が発生したときと同様に事故発生通知(お近くのNOSAーへのご連絡)をお願いします。各センターより知らされるQRコードからの通知も可能です。事故発生通知は速やかに行っていたと思いますが、やむを得ず通知が遅れたとしても保険期間内(その事業年度内)に行うようお願いいたします。

に起きた事故となります。新規加入者で保険期間開始前に発生した病気やケガは対象外です。ただし継続加入者で野菜や果実など単年ではなく保険期間を跨ぐ作物を作付けしている場合、保険期間開始前の病気やケガの事故であっても、補償対象となる場合があります。

また、他の農業者等に作業を委託する、別の作物の作付けを試みるなどといった営農を継続するための努力を行うようお願いいたします。さまざまな状況が考えられますので、職員が詳細をお伺いし確認させていただきます。

なお、病気やケガにより保険金請求を行う際には、医師が発行した診断書の提出が必要となりますので、事前にご用意をお願いいたします(診断書の取得に係る費用は加入者負担です)。

実際に支払いを受けられるかどうかについては、事故の状況や医師の診断書の内容等により個別に判断します。万が一の病気やケガの際には、必ずお近くのNOSAーまでご連絡をお願いします。

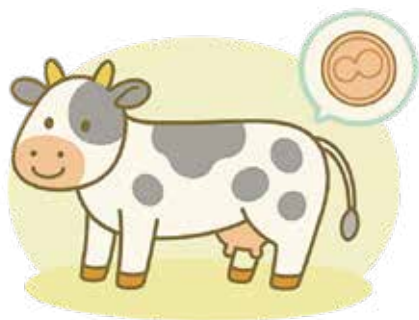
補償対象となるのは保険期間中

【家畜部より大切なお知らせ】

令和8年(2026年)7月1日より受精卵移植(ET)の 胎児・子牛の補償が広がります。

※施行開始日(令和8年7月1日)以降に発生した事故が対象となります。

牛の胎児・子牛の補償開始(責任開始)日



受精卵移植(ET)

移植後
240日

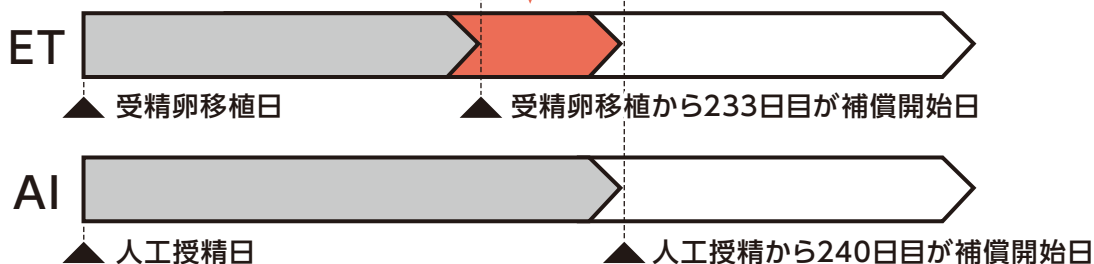


233日

移植前の受精卵の発育期間を考慮し、
従来の240日から早まります。

※人工授精の場合240日は変更ありません。

新しく補償対象となる!!



Q

何が変わったの?

A

これまでは、受精卵移植をした牛の胎児の補償開始は移植後240日からでした。
これが、移植前の受精卵の発育日数(通常7日)を考慮して、**移植後233日から補償されるようになります。**
つまり、**7日分補償される範囲が広がります。**

何をしたらいいの?

Q



移植後233日以降に発生した牛の胎児(ET)の事故はNOSAIにご連絡ください。
日数がギリギリで事故対象になるか不明な場合でも、NOSAIで確認しますのでご安心ください。

A

Q

受精卵の発育日数が7日ではないんだけど?

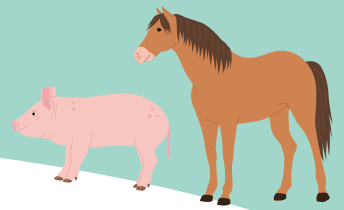
A

受精卵の発育日数が7日ではないことが確認できる場合は、**受精卵の発育日数と移植後日数の合計が240日となる日以降が補償対象となります。**発育日数の確認のため**受精卵証明書**をご準備ください。
例: 受精卵の発育日数が8日の場合、移植後232日から補償開始

その他ご不明な点等ございましたらお近くのNOSAIまでご連絡ください。



／ 教えて 獣医さん ／



小型ピロプラズマ病について

ピロプラズマ病とはダニが媒介し牛に感染する病気で、原虫と呼ばれる寄生性の微生物が引き起こします。ピロプラズマ病には大型ピロプラズマ病(バベシア病)と小型ピロプラズマ病(タイレリア病)の2種類がありますが、現在北海道では放牧牛を中心に小型ピロプラズマ病(法定伝染病ではないもの)が問題になっており、今回は小型ピロプラズマ病について詳しく説明します。



みなみ東部センター
いぶり東部家畜診療所
たなか けんたろう
獣医師 田中 健太郎

原因と症状

タイレリア原虫が牛の体内に侵入し感染します。感染経路としてマダニの吸血が最も一般的で、感染牛を吸血したマダニがほかの牛を吸血することによりうつります。また、原虫を保有しているマダニを野生動物が運ぶことも蔓延を助長します。感染後タイレリア原虫は赤血球に寄生し貧血を引き起こすことにより、食欲不振、繁殖性・生産性の低下を引き起こします。一方で感染直後に発症しないこともしばしばあり、その後のストレス要因(暑熱、輸送、分娩など)が発症を引き起こし、感染して数か月後に重篤な貧血に陥る場合もあります。

また、品種によっても重症度に違いがあり、黒毛和種など在家畜種では感染しても無症状が多い一方、ホルスタイン種では非常に問題となっています。

道内での発生状況

以前より小型ピロプラズマ病発症は確認されていましたが増加傾向にあり、これは近年の温暖化によりマダニの活動時期が増えたことやマダニを運ぶエゾシカの増殖によるものと考えられます。道内の広範囲の放牧地で蔓延が確認されていて、9割以上の牛が感染してしまう牧野も複数存在しています。

治療

以前はパマキンという注射薬が著効を示していましたが現在は入手不可となり、ジミナゼン製剤(ガナゼック)が主に使用されています。ただし一度投与した牛が症状改善後、数週間以上経って再発するという課題があります。また、搾乳牛に使用できない薬であるため、搾乳牛で発症してしまうと補液などの対症療法を長期間強いられ、乳量低下・流産などの莫大な経済損失を被る場合もあります。このように一度小型ピロプラズマ病にかかると、治療していても治療するまでに時間がかかるため予防することが非常に重要になります。

予防法

先ほどの搾乳牛のケースでは分娩前の未経産・乾乳期の放牧時にマダニに吸血され感染している場合がほとんどです。放牧牛での感染も含めマダニ対策が小型ピロプラズマ病の予防に直結します。マダニは種類によって活動時期が異なりますが、温暖化の影響で道内では南方系のマダニが多くを占めていることが知られています。このダニは春と秋に活動性が上がるため、この時期に駆虫薬を使用することが重要です。駆虫薬についてはマダニが牛の体に付いた時点で効果のあるフルメトリン製剤(バイチコールなど)が最も有効です。ここでは道東方面のある診療所で行われている駆虫プログラムを紹介します。

①春先から初夏(3-6月)にかけてフルメトリンを月2回投与

冬が明け気温があがるとマダニは活動し始めます。効果を継続させるために2週間おきの投与が推奨されます。

②夏季(7-8月)はフルメトリンを月1回投与

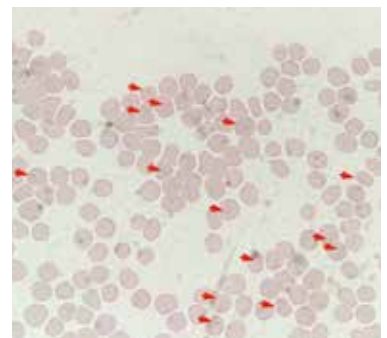
気温が高くなるとマダニの活動性は落ち、感染のリスクが下がるため、投与の必要性は落ちます。

③秋季(9-11月)にフルメトリンを月2回投与

北海道で多くを占める南方系のマダニは秋にも活動性が上がるので、この時期に投与頻度を上げることは非常に重要です。

またこのほかにも、放牧地へ侵入する野生動物への対策

や放牧地周りの下草を刈り取ることは、牛がマダニと接する機会を減らすため有効です。もし、小型ピロプラズマ病でお困りの場合は先ほどの駆虫プログラムを中心に、マダニを対策することをお勧めします。



赤血球内に寄生するタイレリア(赤矢印)

SNSで広がる農業の魅力

真狩村で農業を営む印南まりこさんは、自ら育てた野菜を使った料理をSNSで発信し、主婦層から多くの支持を集め「農家を作るかんたん野菜レシピ」として紹介されるインスタグラムの投稿は、20万人超フォロワーを獲得するなど注目されています。まりこさんは東京出身で、農業とは無縁の生活を送っていましたが「冬だから北海道へ行ってみよう」という思いから移住を決意し、ニセコでのリゾートバイトをきっかけに美しい自然に魅了され、農

業アルバイト経験後に農家を営んでいた佑紀さんと結婚し、現在は羊蹄山のふもとで広大な畑とともに暮らしています。

農家だからこそ伝えられる レシピとSNS発信

まりこさんがSNSで発信を始めたきっかけは「農家だからこそ伝えられる野菜のおいしさ」を多くの人に届けたいという思いからです。レシピは「誰でも作れる簡単さ」と「野菜本来の味を生かすこと」を大



後志地方のシンボルである羊蹄山をバックに印南さん一家

切にしており、料理初心者でも挑戦しやすい内容となっています。レシピ投稿をするようになってから

は、いつも「どんなものを作ろうか」と考えており、その基本にあるのは、農園でたくさんとれる自慢の野菜を旬の時期に生かすことです。企画から撮影、編集まですべて一人で行い、1本の動画に6〜8時間がかかるなど、丁寧なもののづくりを続けています。再生数が伸び悩むこともありすが「次にいこう」と前向きに取り組み、試行錯誤を重ねています。寄せられたコメントには一つ一つ返信し、視聴者とのつながりを大切にしている点も特徴です。SNSを通じて「おいしかった」という声が届くことが、何よりのやりがいとなっています。

自然とともに生きる農業と 前向きな暮らし

農業は自然の影響を大きく受ける仕事で、まりこさんもそうした課題に向き合いながら安定しておいしい野菜を届けたいという思いで努力を続け、近年はサツマイモ栽培に挑戦しています。また、環境の

変化にも柔軟に対応し、地域の温かさに支えられながら子育ても行っています。「やってみたいことはまず挑戦する」という姿勢を大切にしており、その前向きな生き方が現在の活動にもつながっていて「今の生活が好きで羊蹄山を望む広大な畑での暮らしは天国みたい」という言葉には、自然とともに生きる充実した日々への思いが込められています。

お子さんたちにも料理の楽しさを伝えている

まりこさん作の「冬野菜のぎゅうぎゅう焼き」



インスタグラム
「農家を作るかんたん野菜レシピ」
https://www.instagram.com/mariko_yasai/



ユーチューブ
「農家のかんたん野菜レシピ」
https://www.youtube.com/@mariko_yasai/shorts

草とともに生きる酪農

枝幸町乙忠部の石田晃介さん（33）は、令和5年に父の幸也さん（ゆきや）から経営を引き継いだ2代目です。経産牛、育成牛合わせて約60頭を通年グラスフェッド飼養し、牛たちはオホーツク海を望む放牧地でのびのびと草を食んでいます。

牛が支える循環型飼養

「5月から11月の半年間は牛が草を食べてくれます。採草は主に冬の半年分を確保すれば良いので、収穫の労働時間や機械の稼働時間を大幅に短縮できます。その間は

糞尿も牛たちが散布してくれますし、給餌や除糞作業もほとんど必要ありません。ただし分娩の8割が冬場に集中し、その時期の管理に気を使います」と飼養内容を話してくれました。

化学肥料に頼らない飼料づくりと次世代に残したい牧場の風景

平成7年に父の幸也さんが就農し、20年近くかけて現在の飼養形態を確立してきました。「採草地には化学肥料は散布せず、糞や尿を散布するだけです。育成牛は種付けまでは購入飼料も与えますが、それ以降は自家飼料100%で賄っています」と話す晃介さんは、高校を卒業してから20歳の誕生日を機に一年半かけて自転車で日本一周の旅に出ました。その時に見た日本全国の農村風景に感銘を受けて就農を決意しました。「子どもに将来この牧場で育つて良かったと思ってもらえるような、環境や経験のできる北海道ならではの牧場風景を作りたい」と牧場を見つめます。



自然を生かした通年グラスフェッド飼養に取り組んでいます



放牧地でのびのびと過ごす牛たち



オホーツクの放牧場で育つ牛と、そのそばに立つ晃介さん

「グラスフェッド飼養を始めて10年が経ちました。今後この飼養形態を継続し、良い点・悪い点含めて、データやノウハウを蓄積させて酪農界に貢献したい」と意気込みます。

酪農を身近に感じてほしい

(株)山岸牧場のあゆみ

士幌町佐倉地区で酪農を営む(株)山岸牧場は昭和28年に岐阜県から入植し4代目となる山岸利明さん(72)が昭和50年に酪農専業経営に移行しました。現在は代表の北出敦人さん(46)と妻の愛さん(45)、愛さんのご両親の利明さん、厚子さん(69)、牧場スタッフ5名で営農しています。

平成14年にフリーストールでの飼養へ、翌年ロータリーパーラー(20

pt)を導入して現在は300頭の乳牛を飼養しています。

また、平成24年から循環型酪農への取り組みとして新たにバイオガスプラントの稼働を始めました。

酪農家だからできること

「たくさんの方が集まりたくなる空間を提供したい」という母厚子さんの夢をカタチにした「ファームキッチン佐倉Café」を平成30年にオープンし、牧場で搾乳したミルクでつくる自家製ヨーグルト、自家

は一日一組様限定で牧場体験もできる施設です。

酪農家にしかできないこと

酪農のことを少しでも知ってほしい思いから酪農教育ファームの認証を受け、酪農体験を予約限定で受け付けています。

酪農教育ファーム活動は「酪農を通じて食や仕事、いのちの学びを支援する」ことを目的に認証を受けた「酪農教育ファシリテーター」が体験を通じて教育活動を行います。山岸牧場では愛さんがその役を担っています。

「酪農体験希望者は地元の小中学生や一般の方までさまざまです。あくまでも牧場運営を主としているので収穫期や繁忙期にはお断りすることもあり、防疫面で交差汚染には一番気を付けています」と愛さんは言います。

令和5年には宿泊者のダイニングスペース「ha.na.re」をオープンしプライベートな空間で団らんの日と時を過ごせます。

日帰り利用が可能で、大画面のプロジェクターも利用可能なことか

ら研修の場として借りた方がいて好評でした。

「生乳生産を続けたいからこそ、酪農が少しでも身近に感じその価値に気づいてもらえたらと思います」と愛さんは話します。



左から 父 山岸利明さん 母 厚子さん 北出 愛さん 愛さんの夫 敦人さん

菜園や近所の農家さんが作った新鮮野菜、季節の食材を使い手作り提供しています。また、Caféに併設する宿泊施設「ファームイン日和」



ばっかん 麦稈ロールのジャングルジムで遊ぶ子供たち



ha.na.reでは大画面のプロジェクターも利用可能

モンベリアード種との出会いと 新たな挑戦

厚岸町片無去で酪農業を営む福井和彦さん(40)。

軍馬の生産と4頭の搾乳牛から始まった祖父母から続く牧場の3代目です。

福井さんに継承後、令和4年にフリーストール牛舎を新築。90頭だった搾乳牛は、240頭に増えました。現在では、搾乳牛含む450頭のうち、モンベリアード種の交雑種を55頭飼養しています。



モンベリアードの交雑種に期待を膨らませる

平成31年に、ヨーロッパ視察でフランス原産の乳肉兼用種のモンベリアード種と出会い、乳房炎や蹄病などの病気への強さに引かれ、導入を開始しました。

さつぱりとした赤身肉も魅力で、年に数頭生まれる雄牛を肥育し、出荷しています。福井さんは「どんな肉質になるか、給餌を調整するのも楽しみの一つ」と笑顔を見せます。

粗飼料の大切さを痛感

福井さんは、肥料散布や収穫時期の最適化、土壌改良を徹底し、牛の食いつきが良い粗飼料を目指しています。

これまで、さまざまな添加剤やサプリメントを試してきたなか、フリーストール牛舎での増産も経て、福井さんは「改めて、基本となる粗飼料の大切さを痛感しました」と振り返ります。

続けて「健康で免疫抵抗の強い牛群を保ちながら、病気になりにくく、繁殖も自然にまわるような、質の良い粗飼料作りについて日々考えています」と話します。

酪農ヘルパーの経験を生かして

福井さんは、特定技能外国人について「帰国後も自立して生きていけるように、日本で責任ある仕事を経験し、自ら考える力を養ってほしいと考えています」と話し、共に働くスタッフとも日々向き合っています。

過去に酪農ヘルパーとして働いた経験をもとに、柔軟な視



手描きのイラストを用いたパッケージ



特定技能外国人の「考える力」を尊重しながら向き合う福井さん(左から2番目)

点を大切にしている福井さん。「自分のやり方が、唯一の正解ではありません。自身の失敗も包み隠さず地域と共有し、切磋琢磨することで、地域の酪農を盛り上げていきたいです」と将来を見据えます。



地域に愛されるお店を目指して



遠軽町にオープンしたうどん店「**大甲**」^{たいこう}。店主の**有坂勇作さん**（35）^{ありさか ゆうさく}が作る、こだわりのうどんを味わえるお店です。

有坂さんは、以前から「将来は自分でうどん店を開きたい」と考えており、令和8年4月19日に自身の店をオープンし、その夢を実現しました。

うどんの基本となる出汁には、出身地である北海道興部町の業者から取り寄せた上質な利尻昆布を使用。素材本来のうま味を丁寧に引き出した自慢の出汁は、ツルツル・モチモチとしたコシのある麺と相性抜群です。えび天などの揚げ物も注文を受けてから調理し、揚げたてを提供しています。今後は、旬の野菜を使ったメニューも増やしていく予定です。

遠軽町を訪れた際には、出汁のうま味と奥行きのある味わい深いうどんを、ぜひ味わってみてはいかがでしょうか。



50種類超の独創的なそば「村の小さなそば屋 たまゆら」

阿寒郡鶴居村の「**村の小さなそば屋 たまゆら**」は「天ぷらがなくても成立するそば屋」という独自のスタイルと、50種類を超えるメニューの豊富さが特徴です。

看板メニューの「二八冷やしかしわそば」は、冷たいそばに甘辛く味付けしたかしわをのせた一皿です。ほかに「かきにらそば」や「牛モツそば」など、魅力的で珍しいメニューが並びます。

また、遊び心溢れるアイデア商品もあります。カプセルトイを回して、当たったそばが注文される「ガチャそば」は、どのメニューが当たるかわからない期待感も楽しめます。そばだけではなく、エスプレッソと手作りシフォンケーキのセットも、密かな人気商品です。ぜひ一度、独創的な一杯を求めて、訪れてみてください。



豆の町本別で楽しめる創業170年の味

道東道本別ICのほど近くに位置する「**合同会社 豆屋とかち 岡女堂本家**」は、安政2年に創業され、170年の歴史を誇る老舗の販売店です。主に本別町産の大豆や小豆、菜豆類を使用した甘納豆や豆ようかん、豆のお茶など、素材の風味を活かした商品を手作りで販売しています。

なかでも甘納豆は、岡女堂の初代創業者がぜんざいを火にかけすぎたことから偶然生まれたのが起源といわれており、明治28年に京都で開催された第4回内国勧業博覧会に「ぼうだいの甘納豆」として出品され高い評価を受け、宮内省御用達となったとされています。

店舗の近くには、平成18年まで運行していたふるさと銀河線の「岡女堂駅」も人気のスポットです。





もちの魅力広がる農園カフェ



もち米生産団地である上川町の「**もちごやmam**」は、地元産の農作物にこだわった手作りスイーツとランチが人気の農園直営カフェです。

看板商品の無添加大福は、併設の餅加工場で一つひとつ丁寧に手作り。添加物や化学調味料を使わず、ふわふわの食感と控えめな甘さが特長です。小豆あんや大豆あんのほか、かぼちゃやピーズなど旬の作物を餅に練り込んだ彩り豊かな大福も人気。なかでも、農園の開発商品であるカフェインレス「大豆コーヒー」を使った「大豆あん 大豆コーヒー大福」はここでしか味わえない一品です。

店内にはもち米粉の焼き菓子も並び、ランチでは上川町産の餅を使った日本各地のお雑煮や海外の餅料理を提供。窓から広がる雄大な自然を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごせます。



ぐるっと
北海道

地元素材にこだわるグルメや、大自然を堪能できる名所など、地元だからこそわかるレアな魅力を発信していきます。



アロニアを使用した赤いハチミツ

伊達市大滝区の赤いハチミツが有名な「**花 Café Aivalley**」は、店舗の周りに花が咲き乱れ、ミツバチが集まる姿も見られます。季節ごとに植え替えられる花々を眺めながら、天気の良い日にはテラス席でのんびりと過ごすのもおすすめです。

人気のメニューは、大滝特産のきのこ自家製ハーブを使ったスパゲッティ。ほかにもはちみつを隠し味にしたスパイシーカレーやパンケーキ、チーズケーキやジェラートなどメニュー豊富。美容効果の高いアロニアを使ったジュースやティーも、ここならではのおすすめドリンクです。



NOSAIクイズ

クイズに答えてプレゼントを当てよう!



3つの答えの中から正解を選ぼう!

Q1

日本で一番高い山は「富士山」ですが
2番目に高い山は?

- A: 北 岳
B: 六甲山
C: 槍ヶ岳

A1:

Q2

日本で海に面していない県は
いくつある?

- A: 6 県
B: 8 県
C: 10 県

A2:

前号の
答え

A1 東京都

A2 愛媛県

今回の プレゼント

正解者の中から
抽選で30名の方に
プレゼントします!

缶詰「北海道まるっとオニオン スープ」と北海道産原料使用の スープセット

北見市のオホーツク缶詰工房で製造されたオニオンスープに小玉タマネギを丸ごと入れた缶詰「北海道まるっとオニオンスープ」と同工房のパートナー企業である株式会社グリーンズ北見が販売する北海道産原料を使用した5種類のスープをセットにしてお届けします。

「北海道まるっとオニオンスープ」は生産量日本一を誇る北見産タマネギを使用し、素材本来のうま味を逃がさない製法が特長の缶詰です。小玉タマネギを丸ごと使用しているためやさしい甘みとともに、タマネギならではの食感もお楽しみいただけます。

また、セットのスープにも北海道産素材を使用したエキスを贅沢に取り入れており、手軽で本格的なおいしいスープをご堪能いただけますのでぜひご賞味ください。



応募方法

【メール】kouhou@nosai-do.or.jp

【FAX】011-232-3246

【ハガキ】〒060-0004

札幌市中央区北4条西1丁目1

北農ビル15階 NOSAI北海道 クイズ係

応募はNOSAI北海道で農業保険に加入している方と
そのご家族に限ります。

上記の応募方法から、住所・氏名・年齢・加入者氏名・電話
番号・上記クイズの答えと「NOSAIほっかいどう」へのご
意見やご感想を記入してご応募ください。

応募フォーム



応募メ切り

令和8年8月21日(金) 必着

※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

今号の表紙

令和7年秋、雄武町で新規就農した佐々木亮介さん(38)は、妻の朋子さん(43)とともに、牛がストレスなく過ごせる放牧環境の整備を進めています。

朋子さんはフランス留学から帰国後、町内の酪農場に就職し、酪農に強い関心を持つようになりました。

一方、興部町で公務員として働いていた亮介さんは、朋子さんの思いを実現するために町内の酪農家のもとで研修を重ね、就農に至りました。

佐々木さん夫妻は「乳量を多く得ることよりも、牛が無理なく暮らせる環境を大切にしたい」と、これからの理想を笑顔で語ってくれました。

撮影当日は、愛猫も元気に出迎えてくれました。



NOSAI北海道からの お知らせ

令和8年度総代研修集會を 開催しました

令和8年6月4日に、札幌市の共済ホールにて令和8年度総代研修集會を開催しました。

88人の総代が出席した同会は「令和7年度決算および令和8年度予算の概要について」など、3部構成で研修を実施しました。

また、今年度は全国農業共済協会より高橋博会長をお招きし「農業保険を取り巻く情況」と題して講演いただきました。



「農業保険を取り巻く情況」と題し講演するNOSAI協会高橋会長

家畜診療等技術全国研究集會で 農林水産大臣賞を受賞しました

令和8年3月2～3日に開催された「令和7年度家畜診療等技術全国研究集會」において、道央上川センター名寄家畜診療所の水田晴也獣医師が農林水産大臣賞（最優秀賞）、令和8年2月12日に開催された「第54回家畜人工授精・繁殖技術発表全国大会」において、オホーツク統括センター湧別支所の森口巧授精師が西川賞（最優秀賞）を受賞しました。

左記集會に先立ち、受賞を記念して賞状と副賞が贈られ、受賞した演題の発表を行いました。



伊藤榮一組合長から賞状を受け取る水田獣医師

5月分仮渡し共済金を支払いました

令和7年産農・畑作物共済の5月分仮渡し共済金を5月29日に支払いました。

農作物共済は水稻で385戸の対象者に301,814,127円、畑作物共済は4品目で延べ320戸の対象者に104,166,650円を支払いました。

令和7年産 農・畑作物共済仮渡し共済金(令和8年5月支払分)

	作物名	支払戸数(戸)	支払共済金(円)
農作物共済	水稻	385	301,814,127
	大豆	81	37,760,256
畑作物共済	小豆	78	22,993,645
	いんげん	160	42,928,959
	スイートコーン	1	483,790
	畑作物計	320	104,166,650
農・畑作物合計		705	405,980,777

※支払戸数は延です。

組合の動き

5月～6月

組合で開催された
主な会議等を掲載します。

5月15日 第1回総務専門委員会(TV会議)
5月18日 第1回家畜専門委員会(TV会議)
5月19日 第1回労務衛生委員会(札幌)
5月20日 第1回理事会(札幌)
5月22日 第1回監事会(札幌)
5月26日 第2回安全運転管理会議(札幌)
5月29日 第1回農作専門委員会(TV会議)

6月4日 第2回理事会(札幌)
令和8年度全道総代研修集會(札幌)
6月5日 第5回通常総代会(札幌)
第3回理事会(札幌)
6月22日 第3回安全運転管理会議(札幌)
6月30日 損害評価会第1回果樹共済部会(札幌)

じゅわっと弾ける 焼きピーマンの味噌カマンベール焼き



材料(6個分)

- ・ピーマン……………6個
- ・カマンベールチーズ
……………1ホール(6切れにカット)
- ・オリーブオイル……………大さじ2
+ 仕上げ用大さじ1
- ・ハーブソルト……………適量
- ・白味噌……………小さじ2~3
- ・ミックスナッツ……………大さじ2(粗く刻む)



Point

白味噌のコクが味の軸。チーズの旨みを引き立て、全体をまとめます。ピーマンは種ごと焼くことで甘みが増し、水分がじゅわっと広がります。仕上げの刻んだミックスナッツで、香ばしさと食感に立体感を。
ピーマンは焼きすぎに注意。表面にこんがり焼き色がついたら取り出し、“かじった瞬間にじゅわっと広がるみずみずしさ”を残しましょう。



おかざきおかこ

日本酒ライフスタイルディレクター
Japanese Sake Lifestyle Director

北海道を拠点に、旬の野菜を生かしたレシピや食卓の楽しみ方を提案。日本酒を特別なものではなく、日々の食卓や暮らしの中で楽しむライフスタイルをテーマに、料理や食卓スタイリングなど、食とおもてなしのアイデアを発信している。

酒正 土井商店 ブランドマネージャー
上川大雪酒造アンバサダー
SSI日本酒調酒師/ソムリエ
ホームパーティー検定® 認定講師(日本ホームパーティー協会)

NHKテキスト「きょうの料理」スタイリング・コラム掲載。草土出版「最上のおもてなし」掲載。月刊誌「poroco」『気軽にゆるりとのおうち飲み』特集にて提案・セレクトを担当。美酒コンクール正審査員。北海道知事認定「北海道らしい食づくり名人」。

日本酒を通して、人と食卓、季節をつなぐ時間の提案を続けている。

Instagram
@okacofestavolo



白味噌のコクをまとったチーズがとろけ、かじるとじゅわっと広がるピーマンの水分と、カリッとしたナッツの対比を楽しんで。小ぶりのピーマンで仕立てれば、ホームパーティーの前菜にもぴったりです。

作り方

1 | ピーマンは洗ってヘタを取り、縦に切り込みを入れる。種はそのままOK(焼くと甘みが増します)。



2 | カマンベールチーズの断面に白味噌をのせて、ピーマンの切り込みにミックスナッツといっしょに詰め、耐熱皿に並べる。オリーブオイルを回しかけ、ハーブソルトを軽く振る。



3 | 200℃のオーブンで約15分。
表面にこんがり焼き色がつくまで焼く。



4 | 刻んだミックスナッツを散らし、仕上げにオリーブオイルをひと回し。

